

発 行 者
いわき市平字桜町 5
福島県立磐城桜が丘高等学校
同 窓 会
会長 玉手 匡子
題 字
石川美子 (高女33回卒)
印 刷 所
八 幡 印 刷 株 式 会 社



桜丘会報第二十号発行に寄せて

同窓会長 玉手 匡子

同窓生の思いを繋いで四十
年の時が流れ、会報第二十号
を発行することが出来ますこ
とは、誠に喜ばしく思います。
昭和五十年に創刊し、二年に
一度発行することにしたの
も、インターネット通信など
想像も及ばなかった社会の背
景を慮って、先人達は二年に
一度の発行ならば、無理せず
に続けていけると考えてくだ
さったのでしょう。

創刊号は創立七十周年記念
号で、校長先生は佐々木真先
生、同窓会長は第三代の山
崎サト様 (高女6回)、編集
責任者は副会長の千葉とし
様 (高女16回) です。前号の
十九号は創立百周年記念特
集号ですので、会報はまさに
母校の歴史の語り部と言える
でしょう。サイズはタブロイ
ド判四頁 (創刊号と四号は六
頁) で、第十一号からは力
ラー版となりました。題字は
石川美子様 (高女33回)、創
刊から八幡印刷株式会社 (会
長は八幡美智子様・高校5回)

平成二十八年度も、四月に
二百八十名の新入生を迎えて
新年度をスタートし、三月一
日に三百二十名の卒業生を送
り出し、年度末を迎えようと
しています。ここ磐陽の学び
舎を巣立った同窓生は総数
三万五千四百十二名を数えま
す。一人一人が在籍した三年
間にかげがえのない青春期の
大切な時間を過ごしたものと
思います。

今年度も、生徒たちは、授
業での学びは固より、イン
ターハイ、全国総文祭につな
がる部活動、桜丘祭、校内体
育大会等の行事に取り組ん
できました。中でも、創立
百十二年を迎えた今年度から
三年に一度開催されること
になった、
桜丘祭で
は、例年
の文化祭
を「桜丘
祭」と命
名して開
催された第一回桜丘祭と同様
に、若いエネルギーを注いで、
二千七百名を超える来場者に
友と過ごす宝物となる時間に
学んできた成果を披露するこ
とができました。第一回当時
の永井千代子生徒会長 (高3
回) の言われたように、桜丘
祭を「桜が丘に残る一つの良
の糧」となっているのは、伝統
を築いて
きた同窓
生の実績
をはじ
め、有形
無形のご
支援にほ
かなりませ
ん。同窓生
個人の
図書
の寄贈も
ありますが、
同窓会
東京支部
からのこの
三年
間の寄贈
図書は百
七十二冊
に上りま
した。磐
城桜が丘
高等



こゝ磐陽の学び舎に

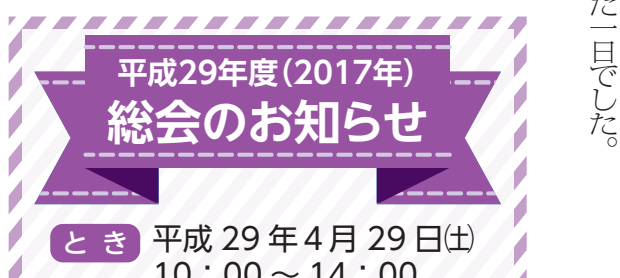
学校長 根本 良 政

習」として継承しています。
その様は、「過ぎし昔のすく
れたる 跡を学びて若き春あ
すを盛りの花待ちて 睦み励
まむ ああ朋友よ こゝ磐陽
上りました。磐城桜が丘高等

生は、まさに天文学的数
字になるかと思えます。日帰
りの研修旅行も常磐自動車道
の開通などにより、かなり遠
方へ足を延ばせるようにな
り、話題性のある美術館での
鑑賞やリッチな会食を味わう
という豊かな時代を思わせる
、多岐にわたる体験談も楽
しませてくれます。

支部だよりは母校から遠く
にあつて、なかなか把握でき
ない各支部の活動や会員の交
流などとは大いに刺激されま
す。小名浜支部会 (小校会)
や四倉支部会に加えて平成
二十四年からは平方支部会が発
足し、母校訪問や桜丘会館の
清掃などを年間行事にするこ
う、まさに母校がある地域
ならではの活動が頼もしく思
われます。

学校ホームページ上の部活
動 (図書局) のページに寄贈
図書一覧を掲載しましたが、
様々なジャンルから文庫本、
新書、単行本、図鑑、岩波講
座等が揃っています。寄贈図
書コーナーから一冊を手にと
り、閲覧室でそれを開いて読
みながら自分と向き合い、思
考を巡らせている生徒の姿が
報告される度に、同窓生への
感謝とともに支援に励む生
徒を育む伝統校の学び舎を誇
りに思います。



平成29年度 (2017年) 総会のお知らせ

と き 平成 29 年 4 月 29 日 (土)
10:00 ~ 14:00

と ころ やまたまや
(いわき市植田八幡台 6)
☎ 0246-63-1288

内 容 総会・懇親会

会 費 5,000 円

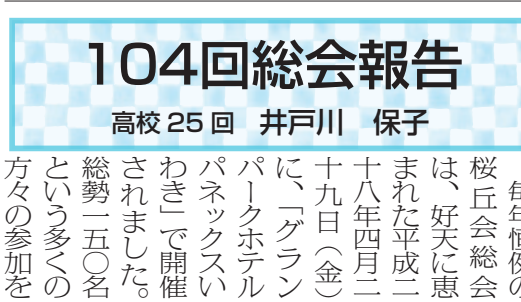
問い合わせ 事務局
☎ 0246-25-9101



103回総会報告

小名浜支部小桜会

平成二十七年
度桜丘会総会
は、四月二十九
日パレスいわ
(いわき市鹿島
町) で、百三十
名が参加して開
催されました。
玉手会長の挨拶
の後、議長団が
選出され、(高
校19回新妻彰
子、高校30回渡
邊裕子、高校20



104回総会報告

高校 25 回 井戸川 保子

毎年恒例の
「桜丘会館」の修繕に対す
る補助が満場一致で承認さ
れ、役員改選も行われ、下
記のように決定しました。
引き続きの懇親会にはア
トラクションとして、フラ
メンコが華を添え、終始和
やかに進められました。熊
本地震の二週間後の開催で
あったため、くまモン
の募金箱に七万六千三百三
十三円の義援金が寄せられ、
福島民報社を通して被災地
に送らせていただきました。
桜丘会の底力を実感した
一日でした。

回小野節子) 議事が進めら
れました。会務・会計・監
査報告が承認され、役員も
前年度の皆様が引き続き承
認されました。第二部は、
渡邊望校長先生の挨拶の
後、新任の先生方の紹介、
各支部長の紹介、校内・校
外理事の紹介があり、高校
23回の齊藤陽子さんによる
祝舞 (鶴亀) で会が始まり
ました。来賓の横田成都子
先生による乾杯の後、高校
13回の男庭圭子さんの「祝
賀の舞」、高校12回の齊藤
裕子さんの「群青」の日本
舞踊が披露されました。続
いて、静から動へと演目が
変わって、「一打の会・木
蓮組」の皆さんによる勇壮
な和太鼓 (謳天囃子、彩の
宴、元気太鼓) の三曲が演
奏され、その豪快な響きが
会場いっぱいに響き、明日
への元気を頂くとする有意
義な一時を過ごしました。

新役員紹介

平成28年度・29年度

役 員

会 長 玉手 匡子 (高校13回)
副会長 高橋 昌江 (高校11回)
坂本 洋子 (高校19回)
園部早由里 (高校23回)
菅波八重子 (高校20回)
野地みゆき (高校22回)
松崎 順子 (高校22回)

校 内 理 事

理 事 長 佐藤 裕子 (高校44回)
高橋真由美 (高校37回)
草野 香織 (高校39回)
喜多見晃子 (高校45回)
黒澤 朋美 (高校46回)
竹中 睦 (高校50回)
高木 美枝 (高校29回)

校 外 理 事

薄葉フミ子 (高校15回)
京極三智子 (高校18回)
菅波アイ子 (高校18回)
新妻 彰子 (高校19回)
加藤 昌子 (高校26回)
高倉ケイ子 (高校11回)
(四倉支部会長)

支部方部だより

仙台支部

和気あいあいの中
花がさいいた昔話

支部長 加藤 翠子 (高校17回)

今年度の支部総会は、六月十九日仙台ガーデンパレスに於て、十五名の参加で開催されました。今年は役員改選の年にあたりましたが、加藤翠子支部長のもと、引き続き全員がお世話役を引き受ける事となりました。総会終了後、八巻恵子



さん(高11回)の乾杯で発声により懇親に移り、フルート演奏(高24回渡邊裕子さん)ハワイアンフラ(高17回古市敏子)の踊りと、少人数ながら和気あいあいと楽しい会となりました。年々出席者が減少する中、今後出席者を増やす為に尚一層の声かけの必要性を感じました。昔話に花を咲かせた後、校歌を歌い来年度の再会を約束して閉会となりました。

古市敏子 記

郡山支部

同じ地に暮らす
御縁を大切に

支部長 斉藤 悦子 (高校17回)

今年度郡山支部では、平成二十七年九月六日「郡山ビューホテルアネックス」で第十七回総会、懇親会を十八名の参加者で開催いたしました。

役員改選があり、斉藤悦子(高17回)が支部長を平田良子前支部長より、引き継ぎました。宜しく願っています。気軽に皆が参加し、おしゃべりを楽しむランチ会を、今年の一月二十七日「郡山ビューホテルアネックス」で開催いたしました。

来年も年明けには、ランチ



会津支部

和やかな中
うれしい初参加も

支部長 遠山美沙子 (高校8回)

会津支部は、平成二十七年六月二十七日(土)、日本庭園の美しい老舗料亭・萬花楼にて第三十三回会津磐女桜丘同窓会を開催いたしました。参加者は九名と少なめでした。



今回は、会の案内状とともに、桜丘会報とクリスタルストラップを送付いたしました。磐女で過ごした日々を懐かしく思い出していただけたら幸いです。

遠藤亮子 記

福島支部

美食ツアーで
会員の交流を

支部長 加藤 春江 (高校28回)

第五十四回福島桜丘会総会、懇親会を、六月五日に開催致しました。ご縁があり、フランス福島会の代表の遠藤祐子様(高29回)よりメッセージを頂きました。フランスで福島島の正しい情報を発信し、復興を応援しているとのことでした。



昨年は九月に梨狩りを大内有子さん(高29回)の果樹園にて実施しました。たわなに実った梨を収穫したり、梨のシャーベットやジャムをごちそうになったりして、みな磐女生に戻ったかのような楽しい一日をすごしました。

手塚優子 記

浪江支部

遠い日の
何気ない日々を大切に

支部長 松本 洋子 (高校26回)

浪江双葉支部は、何とか再開したいと願っておりますが大変複雑な状況にあります。

江町、双葉町という地名は存在しても先のことは予測できません。私は四月二十九日に支部の方々とお会いできるところが大変楽しみです。各地に避難している方々も高齢となり、遠出ができなくなっております。形ばかりの支部となり

東京支部

知性を育んでくれた土壌

支部長 坂本 瑞井 (高校14回)

五月八日(日)上野精養軒で桜丘会東京支部総会が開催され、百八十余名が集まりました。物故者への黙祷、毎年続けている母校への図書購入費の贈呈をいたしました。根本



良政校長先生をはじめ、多数の恩師の紹介に続き、議事に移り、石河強先生による乾杯のご発声後、懇親会に入りました。八十歳以上の会員の方々への記念品贈呈も、年毎の励みとなり、元気で出席することを喜びと誇りにされています。毎年、会員はこの会を楽しみに参加されまして、予定時間をオーバーするほどの盛り上がりを見せてくれます。会場は桜丘会会員のまさに青春そのものであり、青春と共に知性を育んでくれた土壌こそ、母校磐女であったという想いを抱く華やかな会となりました。

東海支部は今年で二十八周年を迎えました。愛知・岐阜・三重県在住の卒業生が参加しています。今年は二月五日の新年会からスタートで、六月十二日は支部会を母校の元校長の石河強先生においでいただき、名古屋アソシアホテルの梨杏で行いました。先生からはボランティアで行かれたポーランドの大学での学生とのことや、今はその学生さんたちが日本へ来て、先生のご自宅経由で東京・京都などの旅をしていることなどのお話をいただきました。東海支部には、先生の教え子がお二人いらっしゃいます。



東海支部

恩師
石河強先生をお迎えして

支部長 志賀恵久子 (高校9回)

親睦旅行は九月十六日・十七日「黒部峡谷トロコ電車と立山黒部アルペンルート通り抜け」を楽しみました。

茨城・高萩・北王支部

輪になり曲に合わせ
ステップを踏む

支部長 大平 育子 (高校9回)

当支部の会員数は八十名おり総会への出席者は常時二十名です。以前は六月の総会、十一月の研修旅行を実施しておりました。ここ数年は一日で済ませることが多く、高齢の方々に配慮し多数の参加を希望しました。

二十八年度総会懇親会研修会は平潟の民宿を会場とし実施しました。懇親会では料理を堪能し、語り合い、歌踊りも飛び出しました。最後には輪になり曲に合わせてス



ステップをふみ、又元気に会いました。と祈念し終了しました。

当支部結成時の寄付金と会費の中から八十八才の米寿祝い、物故者への献花、本部維持費を送らせて頂いております。毎年二千万の会費を納入して下さる八十名の方々に感謝申し上げ同窓生の絆を感じました。

四倉方部

自分の人生の
フィナーレはどんな姿に？

会長 高倉ケイ子（高校11回）

第十六回四倉方部の総会が去る七月三日行われまし
た。記念講演をかしま病院社
会福祉法人「養生会」理事長
の中山昌子先生にお願いしま
した。テーマは「自分の人生
のフィナーレはどんな姿を想
像していますか」という内容
でした。

先生が日頃体験された中か
ら具体的なエピソードの数々
をお話しいただきました。
その1「めったにお目にかか
れない理想的な最後の姿」
2「慰める言葉もなかった壮
絶な死」3「認知症になら
ない間に自分の意志は明確
に」（遺産、延命、葬式のこ
と等）その他4、5、と身近
な事ながら中味の濃いもので
した。



小名浜方部

第十一回
小桜会総会開催に向けて

会長 小野 双葉（高校12回）

小桜会総会は三年に一度開
催されており、十一回目を数
えます。前回第十回総会はパ
レスいわずで開催しました。
会務報告等の議事終了後、い
わき地域学会・小宅幸一氏に
よる講演「港と鉄道、小名浜
ではどっちが必要だった？」
では、港を選択した明治以降
の経緯等興味深い話が聴けま
した。第十一回総会は、平成
二十八年十月二日、カルチエ
ド・シャン・ブリアンで開催し
ました。例年通り会務報告等
の他、元いわき副市長・鈴木
英司氏による講演は「いわ
きの過去・現在・未来」で
した。また同窓生によるシャ
ンソン

も楽し
みまし
た。さ
らに役
員改選
があり
若返り
と小桜
会の更
なる発
展を期
待しま
す。



平方部

毎年恒例の研修旅行
今年は足利学校へ

会長 高橋 昌江（高校11回）

会員総数三〇〇余名、毎年
少々の出入りがありますが、
いつも和やかに春と秋の行事
を開催しております。
四月十日の開校記念日に母
校訪問をしております。平成
二十八年は四月四日に桜丘会
館の清掃を行い、四十余名の
参加者の力で大分きれいにな
りました。清掃の後、城山会

館をお借りして昼食をとりな
がら懇親会となりました。
秋には恒例の研修旅行、毎
年四十数名（バス一台）の参
加者でにぎやかにバス旅をし
ております。今年は、日本一
古い学校「足利学校」の史跡
めぐりを楽しみました。沢山
の方々に支えられ支部の活動
ができることに感謝いたして
おります。



同窓生だより

喜寿の祝

高校10回 磐崎乙女子

高校
を卒業
して早
や六十
年喜寿
を迎え
る年齢
になり
ました。
同期
会は今
迄も節
目の年
にやっ
て来ま
したが
今回は
これを
最後に
すると
いう事
で昨年
の秋か
ら今年
の五月
迄、幹
事が何
度も準
備会を
行い、
五月二
十一日
、椿山
荘にて
、九十七
名の友
を迎え
て、開
催する
事が出来
ました。
遠くは
九州宮
崎から
の参加
でした。



古稀の集い

高校17回 沖野 礼子

同期四百八十五名が卒業し
たのは、昭和四十年三月。そ
れぞれの人生を綴りなし、健
康で迎えた七十歳。まさに「人
生七十古来稀なり」を祝う集
いを十月一日（土）、百十六
名の参加をもっていわき駅近
くの会場で開催でき、喜びひ
としおでした。

主にいわき市内在住者です
が、遠くは札幌、秋田、仙台
などからの参加があり、幹事
一同感激。卒業後、半世紀を
経たのが感じられないほど、
若さあふれる仲間たちとの語
らいは日常の雑事から解放さ
れ、学生時代に戻って至福の
一時を味わいました。
当時はそのような片鱗さえ
も感じられなかった魅力を発
揮され、宴を盛り上げてくれ
た多くの役者に感謝し、次回
の再会を約して「ごきげんよ
う！」



平成27年度研修旅行

つくば方面への旅

高校30回 渡邊 裕子

平成二十七年研修旅行は
「筑波山神社・筑波山頂観光
と、つくばエキスポセンター
で科学とふれあう旅でした。
六月十日（時の記念日）は
前日の雨が嘘のような好天に
恵まれ、三十八名が参加しま
した。旅行担当は小桜会（小
名浜方部）です。
早朝七時いわき駅を出発。
山全体がご神体の筑波山神
社へは予定通り参拝できまし
たが、筑波山（男体山）山頂
へ登るケーブルカーの急な故
障により、山頂へ行くことは
できなくなりました。けれど
も中腹の宮脇展望台から
くば市街を眺望できました。
つくばは科学万博から三十年
目のつくばエキスポセンタ
ー



では、プラネタリウムと展示
物見学をし、科学発達の時の
流れを感じてきました。

平成28年度研修旅行

国宝絵巻への旅

高校26回 柏本 洋子

平成二十八年六月七日、第
二十三回桜丘会研修バス旅行
が実施されました。四十二
名の参加者が世代を越えて
い旅に出ました。車中はゲ
ームをしたり自己紹介で心が
一つになり目的地に到着、国
宝「伴大納言絵巻」と水墨画に



圧倒されタイムスリップして
絵の中へ引き込まれる心地で
した。次にあの加賀屋銀座店
での美味しいランチに満足し
最後の歌舞伎座に着きました。
正面の看板の前で記念写真を
撮り、地下のお土産屋さんへ
直行し歌舞伎を見たように錯
覚してショッピングを楽しみ
ました。帰りのバスの中もコ
ーラスあり
母校のス
ライドあ
り、そし
て手作り
デザート
の差し入
れありと
楽しい一
日となり
ました。
来年の参
加をお
願いま
す。

海外だより

世界へつながる

ニューヨークより
藤田小夜子

早いものでニューヨーク在住
も三十年となり、思いがけ
ずに四人の子供達が皆それぞ
れ国籍の違うお相手と結婚し
ました。長女はイギリス人と、
長男はカナダ人と、次男はア
メリカ人と、そして次女はド
イツ人と。磐城桜が丘に育っ
た一本の桜の木が、世界中に
枝分かれして賑やかにその花
を咲かせています。高校の卒
業アルバムなどを出して来
て、嫁や婿、そして孫達に英
語で説明する日が来るとは夢

母校の縁を大切に

フランスより
遠藤 祐子

早いもので磐陽の学舎を後
にして四十年になります。縁
あってフランスで暮らすこと
になりましたが、毎年桜の季
節には、校門前の見事な桜並
木の花吹雪の中を登下校した

現在私は、東日本大震災後
に設立に至ったフランスの県
人会で、微力ながら福島県の
現状を伝え、応援する活動をし
ていますが、他国の福島県人
会の長にも磐城の先輩方がお
られて、誠に心強い限りです。
今後も母校の縁を大切に、
更なる同窓の出会いを広げて
いきたいと思っています。

母校このごろ

桜丘祭

平成二十八年七月九日、十日の二日間に渡り第四十三回桜丘祭が開催されました。



勇桜邁進

前期生徒会長 片平 愛生

第四十三回桜丘祭も、保護者の皆様をはじめ、地域の方々、そのほかにもたくさんの方々からのご協力のおかげで無事に開催することができました。誠にありがとうございました。

今年から三年に一度となつてしまつた桜丘祭は全学年にとって最後の桜丘祭となりました。さらに、一、二年生にとっては初めての桜丘祭でもあり、準備期間は並ならぬ不安が感じられました。しかし、当日はどのクラスも良い意味で期

る方々に感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって日々努力していきたいと思います。

美術部

総文祭に参加して

二年 佐藤 沙月

放送局

放送局の活動について

三年 岸波佳奈子

初めて出場した全国大会は、不安と緊張がとても大きかった。

試合前日の練習のとき、他のやり投げ選手の投げを見た。自分は場違いな気がして、楽しんで投げようとは思えなかった。だけどその日の夜、多くの人からメッセージをもらった。それを読んで、私がベストを尽くすことに変わり

待を裏切ってくれました。来校してくださった方からたくさんのお言葉もいただき、全校生徒にとって一生思い出に残る桜丘祭になったのではないかと思います。

当日はもちろん、準備期間も活き活きとした様子で仲間と協力し合つて桜丘祭にのぞむ姿はまさに『勇桜邁進』そのものだったと思います。

挑戦と感謝の桜丘祭

実行委員長 堀合 璃子

今年度で四十三回目を迎えた桜丘祭。『勇桜邁進』私たちがいつだって奇跡を起こせる

文芸部

全国大学出場について

三年 松岡 睦実

この度は同窓会の皆様のご支援の下、無事に総文祭への参加を終えることができたことを有難く御礼申し上げます。広島では、開催都市である福山市の歴史などを学ぶと共に、散文を書くコツや土地と関連した作品での地域の活性化なども学んできました。今回私が得た知識をしっかりと後輩に伝え、文芸部としての活動をますます発展させていきたいと思つたので、今後とも応援して頂けると幸いです。



■主な大学合格者数（現役生のみ）

卒業年度（平成）	27	26
北見工業大学	1	
北海道教育大学	1	1
室蘭工業大学	1	
弘前大学	1	1
秋田大学	1	3
東北大学	1	
宮城教育大学	2	
山形大学	5	2
福島大学	11	10
茨城大学	12	12
筑波大学	1	3
宇都宮大学	1	
千葉大学	1	
埼玉大学	1	
電気通信大学	1	
新潟大学	1	
信州大学	2	
静岡大学	2	
和歌山大学	1	
山口大学	1	
釧路公立大学	3	
岩手県立大学	1	2
秋田公立美術大学	1	
秋田県立大学	1	
山形県立保健医療大学	1	
宮城大学	1	2
福島県立医科大学（看護学部）	2	1
会津大学	2	
茨城県立医療大学	1	1
群馬県立女子大学	2	

卒業年度（平成）	27	26
前橋工科大学	3	1
高崎経済大学	4	1
埼玉県立大学		2
横浜国立大学	1	
新潟県立大学	1	2
岡山県立大学	1	
長崎県立大学		1
合 計	59	59

卒業年度（平成）	27	26
茨城キリスト教大学	12	4
いわき明星大学	31	39
学習院大学	2	1
神奈川大学	12	9
神田外語大学	2	
北里大学	1	2
共立女子大学	3	1
慶應義塾大学	1	
國學院大学	1	
国際医療福祉大学	14	11
駒澤大学	15	7
自治医科大学		1
実践女子大学	4	4
芝浦工業大学	6	2
昭和女子大学	4	1
白百合女子大学	1	
女子栄養大学	2	
成蹊大学	4	1
成城大学	1	1
専修大学	15	13
大東文化大学	7	6

卒業年度（平成）	27	26
中央大学	1	2
津田塾大学	1	1
帝京大学	9	13
東海大学	17	14
東京家政大学	1	8
東京女子大学	1	1
東京都市大学	2	
東京電機大学	1	3
東京農業大学	2	2
東京理科大学	1	2
東北学院大学	14	8
東北福祉大学	16	5
東北薬科大学	2	
東洋大学	15	10
獨協大学	6	4
日本女子大学		4
日本大学	27	21
文教大学	19	7
フェリス学院大学	1	2
法政大学	5	3
明治学院大学	3	1
明治大学	7	1
立教大学	2	1
立正大学	1	1
龍谷大学		2

■国公立大学内訳（27年度）

推薦入試	12
A O 入試	0
前期試験	38
中期試験	0
後期試験	8
別日試験	1
二次募集	0
合 計	59

■その他の大学（27年度のみ。短大・専修学校等は除く）

亜細亜・桜美林・神奈川工科大学などの関東の難関国立大学に合格者を出すことができました。私立では、慶応大学に合格者が出ました。

■就職

（26年度）
福島県警察官・いわき市役所行政職・地方検察庁事務

（27年度）
裁判所事務・福島県学校事務・富岡町役場職員・陸上自衛官候補生・株式会社ANA FESTA・ひまわり信用金庫

進路状況

二十六年度は、久々に現役で東北大に、筑波大学にも一般受験で三名、そのほか、宇

都宮や千葉・埼玉、電気通信大学などの関東の難関国立大学に合格者を出すことができました。私立では、慶応大学に合格者が出ました。

「〜というテーマを掲げた今回は、新しいことに挑戦する勇氣と、一つのものを作り上げた瞬間の喜びを、仲間とともに感じることができました。前回の桜丘祭にはなかった新しい企画に挑戦した今回は、準備期間中に様々な壁に

ぶつかることがありました。しかし、それらを乗り越えることができたのも、生徒全員が大切な仲間と桜丘祭を成功させたいと強く思ったからだと確信しています。

『葉脈図 句集』
『第一回復興いわき 海の俳句全国大会特選・入選作品集』
山崎祐子（高校27回）
このほか、沢山の同窓生・関係の方から、図書を寄贈していただきました。

編集後記

創刊号発行（昭和五十年）の年に卒業した私達（高27回）が、編集に携わるといふ巡りが、合わせに感動いたしました。大きな力添えをして下さった他の編集委員の諸先輩方には、母校への長きにわたる誇りと愛情を感じました。同窓生はまさに宝です。

編集委員

委員長 山際 歩（高校27回）
会長 玉手 匡子（高校13回）
副会長 高橋 昌江（高校11回）
坂本 洋子（高校19回）
園部早由里（高校23回）
委員（高校27回）
安竜すみえ・石井 宏子
佐藤 康子

校内理事

理事長 佐藤 裕子（高校44回）
高橋真由美（高校37回）
黒澤 朋美（高校46回）

校外理事

薄葉フミ子（高校15回）
京極三智子（高校18回）
菅波アイ子（高校18回）
新妻 彰子（高校19回）
加藤 昌子（高校26回）
高倉ケイ子（高校11回）
（四倉方部長）